

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
 また、施工後は施主様に商品説明を行ってください。
 なお、保守・点検の際も活用しますので、施工説明書/取扱説明書・仕様書は
 所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。
 (この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

	危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
	注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
 いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工上のご注意

危険									
	有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。								
	関連法規および内線規程を遵守して、正しい工事を行ってください。 工事・点検時はブレーカを必ず切ってください。感電および短絡による人身事故のおそれがあります。 正しい配線工事をしてください。誤結線があると発火、感電、故障の原因になります。また漏電ブレーカ搭載機種については、電線を電源側、負荷側の指示通りに接続してください。 配線は適合した電線、圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱、火災のおそれがあります。								
	アースせよ								
	導電部の接続ねじは表 1 の適正締付トルクで確実に締付けてください。また、工事終了時に全ての導電部のねじを必ず増締めすると共に、定期的に増締めしてください。ねじがゆるんでいると発熱、火災のおそれがあります。 表 1 適正締付トルク <table border="1"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th><th>締付トルク N・m</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M5</td><td>2.0~3.0</td></tr> <tr> <td>M6</td><td>3.0~4.5</td></tr> <tr> <td>M8</td><td>5.5~7.0</td></tr> </tbody> </table> 接地線は接地端子に確実に接続してください。接地工事に不備があると感電のおそれがあります。	ねじの呼び	締付トルク N・m	M5	2.0~3.0	M6	3.0~4.5	M8	5.5~7.0
ねじの呼び	締付トルク N・m								
M5	2.0~3.0								
M6	3.0~4.5								
M8	5.5~7.0								

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

気をつけていただく内容です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

注意	
	改造等したことにより生じた事故については、一切責任を負いません。
	次のような場所では使用しないでください。 - 高温、高湿となる場所 ・ 温度または気圧の急変がある場所 - 腐食性ガスのある場所 ・ 可燃性ガスのある場所 - 可燃性ガスが漏れるおそれのある場所 ・ 振動、衝撃のある場所 - 有機溶剤のかかる場所 ・ 塩分を多く含んだ環境 - 粉塵やオイルミストが多い場所 ・ 工作油、シンナーが付着する場所
	設置環境は下記条件でご使用ください。 PEB(屋内用): 保護等級 IP2XC - 周囲温度: -5~40℃ かつ、24時間の平均値35℃以下。 - 標 高: 2000m以下。 - 相対湿度: 45~80% (内部結露がないこと) - ブレーカの操作が容易にできる場所。 OPEB(屋外用): 保護等級 IP43 - 周囲温度: -5~40℃ かつ、24時間の平均値35℃以下。 - 標 高: 2000m以下。 - 相対湿度: 特に規定しない (内部結露がないこと) - 氷雪によりドアの開閉に影響が出ない場所。 - ブレーカの操作が容易にできる場所。
	屋外用 OPEB (防雨形: 保護等級 IP43) は鉛直から 60°の範囲の散水によって有害な影響のない性能を有しています。斜め上への風雨などにさらされる場所(高所など)へのご使用はお避けください。 屋外用 OPEB (防雨形: 保護等級 IP43) の配線施工後は保護等級に応じた処置をしてください。(ノックアウト加工をした時点で保護等級は保証できなくなります。) キャビネットの設置は取付面の平面度を確認し、堅牢に取付けてください。鉛直に対して ±10°以内に取付けてください。凸凹のある場所へ無理に取付けると本体がひずみ機能を損なうおそれがあります。 製品の左右にはドアの開閉ができる程度に隙間をあけてください。 ノックアウトを抜いたあとはバリ処理をしてください。 ポール取付けの場合は、本体が変形しないようにバンドを締付けてください。 電源、負荷の配線は相、線式、電圧、容量を確認の上、施工してください。発熱、火災、故障の原因になります。 ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水等が製品内部に入らないように施工してください。火災、動作しないおそれがあります。 線間での絶縁抵抗測定は、不具合の生じるおそれのある機器(漏電ブレーカ)を外して電線間で行ってください。 施工時に取外した端子カバーは必ず元の位置に戻してください。感電、短絡事故のおそれがあります。

■使用上のご注意

⚠危険		
⊘	有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。	⚠
	端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。	
		定期的に、電気工事業者に点検依頼をしてください。定期点検をしないと事故の原因になります。 また、屋外用 OPEB の保護等級は IP43 です。はげしい風雨の後なども点検依頼をしてください。

⚠注意		
⚠	内線規程では「連続負荷を有する分岐回路の負荷容量は、その分岐回路を保護する過電流遮断器の定格電流の 80%を超えないこと(勧告)」と規定されています。	⚠
	ブレーカを日常のスイッチとして使用しないでください。	
		異常な発熱、臭い、煙などが発生した場合はブレーカを OFF にし、速やかに電気工事業者へ連絡してください。 自動的に遮断した場合は、原因を取除いてからハンドルを ON にしてください。

■保守・点検上のご注意

⚠危険		
⊘	有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。	⚠
		漏電ブレーカがある場合、保守点検時にはテストボタンによる動作確認をしてください。 工事・点検時はブレーカを必ず切ってください。感電および短絡による人身事故のおそれがあります。

⚠注意		
⊘	キャビネットの表面の汚れは、乾いた布または中性洗剤を軽く布に湿らせて拭取ってください。薬品やアルカリ系、酸性系などの洗剤は使用しないでください。	⚠
		線間での絶縁抵抗測定は、不具合の生じるおそれのある機器(漏電ブレーカ)を外して電線間で行ってください。 施工時に取外した端子カバーは必ず元の位置に戻してください。感電、短絡事故のおそれがあります。

■各部の名称

PEB

OPEB

■コンセントについて

コンセント定格	コンセント型番 (アメリカン電機株式会社製)	適合プラグ型番	
		アメリカン電機株式会社製	パナソニック株式会社製
引掛形接地 2P 15A 125V	3110-P	PEB	3112N,3112R WF6315
		OPEB	防水形 R102 防水形 WF8315K
引掛形接地 3P 20A 250V	4220-P	PEB	4222N,4222R WF6420
		OPEB	防水形 4222RW 防水形 WF8420K
引掛形接地 3P 30A 250V	4320-P-L15	PEB	4322N-L15 4322R-L15 —
		OPEB	防水形 4322RW-L15 —

お問い合わせ先 ご不明な点がございましたら弊社お客様相談センターにお問合わせください。 TEL (0561) 64-0152 〈受付時間〉 9:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝日は休み)	施工業者名 TEL 施工年月日 年 月 日
--	--

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。
本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2024年5月
C903390003